

第32回大阪府環境審議会の開催結果の概要

日 時：平成18年11月21日（火）9:30～

場 所：たかつガーデン

1. 大阪府イノシシ保護管理計画の策定について（諮問）

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、大阪府イノシシ保護管理計画の策定について諮問があり、環境審議会条例（以下「条例」という。）第6条第1項第3号で規定する野生生物部会で調査審議することとなった。

2. 大阪府シカ保護管理計画（第2期）の策定について（諮問）

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、大阪府シカ保護管理計画（第2期）の策定について諮問があり、条例第6条第1項第3号で規定する野生生物部会で調査審議することとなった。

3. 揮発性有機化合物及び化学物質対策のあり方について（第一次答申）

本件は、平成18年3月に開催された第30回環境審議会において、知事から諮問があり、専門的見地からの検討を行う揮発性有機化合物・化学物質対策部会が設置され、検討されてきた。この度、本年8月に開催された第31回環境審議会での「中間報告」に対する審議及びその後実施したパブリックコメントを踏まえ、部会が取りまとめた報告について審議が行われ、第一次答申をいただいた。

第一次答申は、大きく化学物質対策と揮発性有機化合物（VOC）対策に分けられ、その内容は次のとおりである。

1 化学物質対策

排出規制の見直し

新たに発ガン性が確認された物質（エチレンオキシド）を有害物質に追加するなど。

化学物質適正管理促進のための新しい制度

大気のみならず水・土壌への排出や廃棄物等への移動も対象とする総合的な管理制度に改善するなど。

2 揮発性有機化合物対策

VOCを排出する施設や工場の規制

規制基準の遵守状況の把握・確認のため、必要事項の記録・保存を義務付け。

工場・事業場以外の発生源の対策

タンクローリーに蒸気返還接続装置の設置を新たに義務付け。

「化学物質適正管理制度」を活用した自主的取り組みの促進。

大気汚染緊急時措置

光化学スモッグの注意報等の発令時に大規模なVOC排出事業者に対し排出抑制の

協力を要請。

なお、エチレンオキシドに係る規制内容などについては、引き続き部会で検討することとなった。

4．化学的酸素要求量等に係る第6次総量削減計画及び総量規制基準について

本件は、平成17年11月に開催された第29回環境審議会において知事から諮問があり、専門的見地からの検討を行う水質規制部会が設置され、検討されている。この度、3回にわたる部会での検討結果について報告があり、その内容について審議を行った。

この第6次総量削減計画では、大阪湾を瀬戸内海と切り離して考えること。規制のあり方として これまでの対策で河川も含め水質改善されているが、引き続き負荷量の削減を図ること。大阪湾の自然浄化機能を高める取り組みを推進すること。大阪湾の再生に向け、関連する自治体はじめ、住民、NPO、企業等一体となった取り組みが必要であることが報告された。また、こういったあり方のもと、平成21年度を目標とする生活排水、産業排水、その他の汚濁発生源毎の削減目標とその対策について説明された。

5．廃棄物処理計画の改定について

本件は、平成18年3月27日に開催された第30回環境審議会において知事から諮問があり、専門的見地からの検討を行う廃棄物処理計画部会が設置され、検討されている。この度、3回にわたる部会での検討結果について報告があり、その内容について審議を行った。

今回の改定では、現行計画の目標年度であった平成17年度の達成状況の評価を行い、平成22年度の目標とその達成のための施策の見直しを進めていること。また、各種リサイクル関連法令の施行等を踏まえ、リサイクルなどの循環型社会の形成に重点をおいた計画とすることなどが報告された。

6．第10次鳥獣保護事業計画の策定について

本件は、平成18年8月25日に開催された第31回環境審議会において知事から諮問があり、条例第6条第1項第3号で規定する野生生物部会で検討されている。この度、2回にわたる部会での検討結果について報告があり、その内容について審議を行った。

新計画では、基本理念について、現計画の人と野生鳥獣との共生から野生鳥獣による被害があることから、適切な関係の構築という表現にすること他、検討の概要について報告された。

7. 「平成17年度における環境の状況並びに豊かな環境の保全及び創造に関して講じた施策に関する報告」について（報告・意見聴取）

「大阪21世紀の環境総合計画」の進行管理の一環として、平成18年9月大阪府議会に報告した上記報告書により、「平成17年度における環境の状況並びに豊かな環境の保全及び創造に関して講じた施策」について説明し、各委員からの意見聴取を行った。

委員からはアスベスト濃度などに対する意見があった。